

エコアクション21 環境経営レポート 2024年度

対象期間 2024年4月1日～2025年3月31日

株式会社 富士越

発行日 2025年6月1日



エコアクション21[®]
認証番号0004231

目次

1	会社概要	3
2	組織図及び認証・登録範囲	4
3	環境経営方針	5
4	環境経営目標	6
5	環境経営計画	6
6	環境経営目標の実績	7
7	環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	8
8	環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果、違反、訴訟等の有無	9
9	代表者による全体の評価と見直し・指示	9

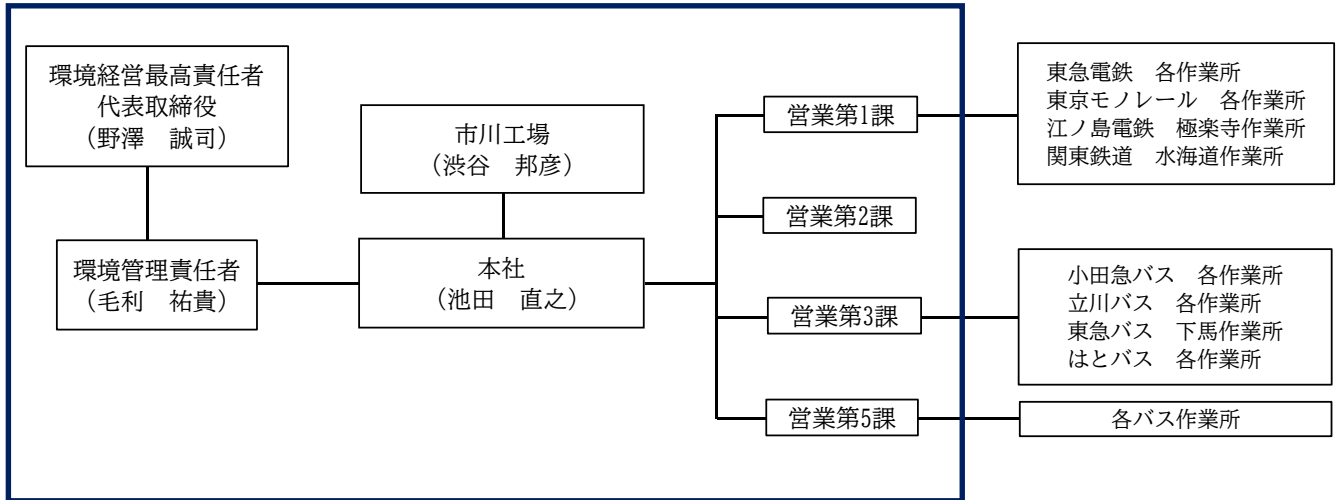
1 会社概要

事業社名	株式会社 富士越		
代表者名	代表取締役 野澤 誠司		
所在地	本社	〒140-0004 東京都品川区南品川 2-17-11	03-5783-3342
	市川工場	〒272-0106 千葉県市川市伊勢宿 11-30	0473-57-7951
事業内容	電車・バスの清掃及び整備の請負業務		
環境管理責任者	総務部課長 毛利 祐貴		
連絡先	TEL	03-5783-3342	
	FAX	03-5783-3755	
	E-mail	fujikoshi@basil.ocn.ne.jp	
設立年月日	1957年4月		
従業員数	172名（エコアクション21認証登録範囲の従業員数24名）		
資本金	1,300万円		
売上高	4億3,200万円（2024年4月～2025年3月）		
床面積	本社	621 m ²	
	市川工場	122 m ²	
事業年度	12月1日～11月30日 （今回の環境経営レポートの対象期間は、2024年4月～2025年3月）		

2 組織図及び認証登録範囲・実施体制

組織図及び認証登録範囲

(青枠外の作業所は、先方の環境経営システムに含まれている為除外)



※サイト認証

2009年10月9日

(株)富士越本社 認証取得

2011年更新審査時

(株)富士越 市川工場 認証取得

実施体制

職名	役割・責任・権限
環境経営最高責任者 代表取締役 野澤 誠司	取組の対象組織・活動の明確化 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針作成の承認 実施体制の構築 エコアクション21の評価・見直し・指示・従業員への周知 エコアクション21を運用し、維持するための経営資源を用意 環境経営レポートの承認 環境管理責任者の任命 環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価 環境目標設定の推進と確認
環境管理責任者 総務部課長 毛利 祐貴	データ収集と環境経営レポートの作成 最高責任者への環境経営レポートの報告 エコアクション21の構築・実施・管理 環境経営目標・環境経営計画の策定
工程管理責任者 営業部部長 池田 直之	現場を統括し、エコアクション21の運用と意見交換 教育・訓練の実施
市川 省エネ管理責任者 渋谷 邦彦	市川工場でのエコアクション21の実施 市川工場のデータ収集
全従業員	環境経営方針の理解・取組の重要性を理解 積極的に環境活動へ参加

3 環境経営方針

【 基本理念 】

株式会社 富士越は、事業活動を通じて環境保全に貢献し、環境と経済の好循環による脱炭素社会を実現するため積極的に行動します。

【 行動指針 】

- 1 環境負荷を最小限にする為、下記のことに取り組めます。
 - ・ 電力使用量の削減
 - ・ 化石燃料使用量の削減
 - ・ 廃棄物排出量の削減
 - ・ 水道使用量の削減
 - ・ グリーン購入の推進
- 2 環境経営の継続的改善を誓約します。
- 3 環境関連法規、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 4 地域社会における環境保全活動に参加し社会貢献に努めます。
- 5 この環境経営方針は、全従業員に周知すると共に一般にも公開します。

制定日 2007年8月1日

改訂日 2024年4月1日

株式会社 富士越
代表取締役 野澤 誠司

4 環境経営目標

環境経営目標項目	単位	2022年実績 (基準値)	環境経営目標値				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	81,547 基準値	80,732 -1%	80,324 -1.5%	79,916 -2%	79,508 -2.5%	79,101 -3%
電力使用量の削減	kWh	43,075 基準値	42,644 -1%	42,429 -1.5%	42,214 -2%	41,998 -2.5%	41,783 -3%
ガソリン使用量の削減	L	15,332 基準値	15,179 -1%	15,102 -1.5%	15,025 -2%	14,949 -2.5%	14,872 -3%
軽油使用量の削減	L	8,488 基準値	8,403 -1%	8,361 -1.5%	8,318 -2%	8,276 -2.5%	8,233 -3%
都市ガス使用量の削減	m ³	15,332 基準値	15,179 -1%	15,102 -1.5%	15,025 -2%	14,949 -2.5%	14,872 -3%
産業廃棄物の削減	kg	3,150 基準値	3,119 -1%	3,103 -1.5%	3,087 -2%	3,071 -2.5%	3,056 -3%
一般廃棄物の削減	kg	64.5 基準値	63.9 -1%	63.5 -1.5%	63.2 -2%	62.9 -2.5%	62.6 -3%
水道使用量の削減	m ³	1,020 基準値	1,010 -1%	1,005 -1.5%	1,000 -2%	995 -2.5%	989 -3%
グリーン購入の推進	個	60	62	64	66	68	70
太陽光発電の利用	kWh	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215	6,215

※電力のCO2排出係数は、東京電力の2022年度の 0.376kg-CO2/kWh を使用しています。

※化学物質の取扱いはありません。

5 環境経営計画 (環境対策手順書)

取組目標	活動項目	実施時期	責任者
電力使用量の削減	エアコン温度管理 (冷房28℃、暖房20℃)	通年	毛利
	不要な照明器具の消灯		
	クールビズ、ウォームビズの実施		
	太陽光発電の利用		
ガソリン・軽油使用量の削減	エコドライブの実施	通年	池田
	車両の定期点検整備		
都市ガス使用量の削減	ガス乾燥機使用の効率化	通年	毛利
	給湯器使用の節約		
一般廃棄物の削減	両面印刷、両面コピーの活用	通年	毛利
	使用済用紙の裏紙利用		
産業廃棄物の削減	作業を見直し廃棄物の削減	通年	池田
	産廃マニフェストの集計、公的機関への報告		
水道使用量の削減	節水活動の推進	通年	毛利
	水道、水洗トイレ等の漏水防止		
グリーン購入の推進	グリーン商品を積極的に購入	通年	小林
	再生品、再利用できる製品を購入		
その他	敷地内の緑化	-	-
	地域の環境法規制遵守、地域の清掃活動		

6 環境経営目標の実績

環境経営目標項目	単位	対象場所	2022年実績		2024年		目標達成率	達成評価
			基準値	目標 -1%	実績	実績		
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	本社	69,470	68,775	58,476	117.6%	○	
		市川工場	1,812	1,794	831	215.9%	○	
		計	71,282	70,569	59,307	119.0%	○	
電力使用量の削減	kWh	本社	39,724	39,327	33,998	115.7%	○	
		市川工場	4,110	4,069	2,211	184.0%	○	
		計	43,834	43,396	36,209	119.8%	○	
ガソリン使用量の削減	L	本社	14,799	14,651	13,507	108.5%	○	
軽油使用量の削減	L	本社	6,086	6,025	4,724	127.5%	○	
都市ガス使用量の削減	L	本社	858	849	971	87.5%	×	
産業廃棄物の削減	kg	市川工場	4,550	4,505	0	-	-	
一般廃棄物の削減	kg	本社	504.0	499.0	605.0	82.5%	×	
水道使用量の削減	m ³	本社	449	445	356	124.9%	○	
		市川工場	404	400	132	303.0%	○	
		計	853	844	488	173.0%	○	
グリーン購入の推進	個	本社	60	62	70	112.9%	○	
太陽光発電の利用	kWh	本社	6,092		7,300	119.8%	○	

※電力のCO2排出係数は東京電力の2020年度の 0.441kg-CO2/kWh を使用しています。

判定基準 目標達成率（目標/実績）で判定
 ○：達成（100%以上） ×：未達成（100%未満）

未達成について

・都市ガス

原因：ガス乾燥機の使用増加

分析：仕事量増加

対応策：天日干しをする

・一般廃棄物

原因：不要な印刷物、ダンボールの増加、使い捨て商品の増加

分析：間違えて印刷をする、資材購入時にダンボール増加

対応策：印刷プレビューの確認、裏紙として使用、電子データの活用、ダンボールの再利用

7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度（2025年）の取組内容

取組目標	活動項目	評価		次年度
		本社	市川	
電力使用量の削減	エアコン温度管理（冷房28℃、暖房20℃）	○	○	継続
	不要な照明器具の消灯	○	○	
	クールビズ、ウォームビズの実施	○	○	
	太陽光発電の利用	○	-	
ガソリン・軽油使用量の削減	エコドライブの実施	○	-	継続
	車両の定期点検整備	○	-	
都市ガス使用量の削減	ガス乾燥機使用の効率化	×	-	継続
	給湯器使用の節約	×	-	
一般廃棄物の削減	両面印刷、両面コピーの活用	×	-	継続
	使用済用紙の裏紙利用	×	-	
産業廃棄物の削減	作業を見直し廃棄物の削減	-	-	継続
	産廃マニフェストの集計、公的機関への報告	-	-	
水道使用量の削減	節水活動の推進	○	○	継続
	水道、水洗トイレ等の漏水防止	○	○	
グリーン購入	グリーン商品を積極的に購入	○	○	継続
	再生品、再利用できる製品を購入	○	○	
その他	敷地内の緑化	○	○	継続
	地域の環境法規制遵守、地域の清掃活動	○	○	

判定基準 目標達成率（目標/実績）で判定
 ○：達成（100%以上） ×：未達成（100%未満）

是正処置、予防処置

電力使用量の削減

- ・太陽光発電の利用で電力使用量の10%をまかないました。
- ・空調温度の適正化、不要照明の消灯し節電意識の向上。

産業廃棄物の削減

- ・再資源化、再生材の利用促進は積極的に行ないました。

ガソリン・軽油使用量の削減

- ・車両管理は良好でした。
- ・エコドライブの推進。

水道使用量の削減

- ・節水活動を呼びかける事で、水の使用量を削減し目標値を達成することができました。

都市ガス使用量の削減

- ・失敗要因：ガス乾燥機・ガス暖房機の使用が増えました。
- ・対応：天日干しをする。設定温度の調整をする。

グリーン購入

- ・事務用品を中心にグリーン購入率が高かったです。
- ・今後も積極的にグリーン購入に努めます。

一般廃棄物の削減

- ・失敗要因：不要な印刷物・ダンボールが増えました
- ・対応：不要な印刷物の削減、両面コピー、裏紙使用、電子データの活用をする。ダンボールの再利用をする。

8 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果、違反、訴訟等の有無

- ・当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、法令違反はありませんでした。
(遵守評価日：2025年3月31日)
- ・関係当局より違反等の指摘や訴訟も過去3年間ありませんでした。

株式会社富士越が遵守している主な環境関連法規

法令、条例の名称（略称）	該当する主な活動	遵守の確認
自動車NOx・PM法	ディーゼル車2台が対象	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン管理者は機器の点検を行い、記録保存	○
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理、マニフェスト管理	○
グリーン購入法	事業者は努力義務	○
自動車リサイクル法	廃車時の有料委託	○
家電リサイクル法	廃棄時の有料委託	○
東京都環境確保条例	アイドリングストップ、クリーンディーゼル車の使用等	○
品川区廃棄物再利用条例	廃棄物の適正処理	○
消防法	保安検査の実施・記録・保管	○
千葉県廃棄物処理適正化条例	廃棄物の適正処理	○
市川市廃棄物適正処理条例	廃棄物の適正処理	○
市川市環境保全条例	排水規制基準の遵守	○
	騒音規制基準の遵守	○

9 代表者による全体の評価と見直し・指示

報告日：2025年5月1日

取組状況の確認	遵守の確認
環境経営目標の達成状況	○
環境経営計画の実施状況	○
環境関連法規などの遵守状況	○
重要度の高い環境負荷の状況及び取組の実施状況	○

代表者の指示事項

- ・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、実施体制の変更はしません。